第七回盛岡国際俳句大会

令和七年十一月十六日（日）

盛岡劇場

入選作品集

盛岡国際俳句大会とは

日本文化を象徴する芸術である俳句は、今では「ＨＡＩＫＵ」と呼ばれ、世界各地で親しまれていることをご存知ですか。

盛岡国際俳句大会は二〇一九年の盛岡市市制施行一三〇周年を記念して始まった日本語と英語による俳句の大会です。

盛岡市は山に囲まれた風情ある街並みの中を、鮭が上る川が流れる、自然豊かで四季の彩りを感じられる街です。また、多くの偉大な先人を輩出した歴史と文化が薫る街でもあります。

そして俳句は、そうした自然や歴史を切り取り、五七五のたった十七文字で表現する最も身近な芸術なのです。

盛岡に住む人が、自分の街を見つめ直し、その魅力を再発見したり、盛岡を訪れた人が、その魅力を知り、好きになってくれたり。

この大会がそんなきっかけになってくれれば幸いです。

盛岡国際俳句大会実行委員会

ごあいさつ

盛岡国際俳句大会実行委員会
会長　内舘　茂

盛岡市は、四季の移ろいを身近に感じられる風情あるまちであり、また、俳人山口青邨や石川啄木をはじめ、文学に造詣の深い多くの先人が残した歴史文化が息づくまちであります。

盛岡国際俳句大会は、俳句を通して盛岡の魅力を再発見し、国内外に発信することを目指して二〇一九年から始まりました。

第七回となる今大会も、海外を含め、大変多くの方々から投句をいただいております。これもひとえに、盛岡、そして俳句を愛する皆様の想いと、選者の先生方をはじめとする大会関係者各位のお力添えの賜物であり、深く感謝を申し上げます。

この大会を通じて、盛岡市民の皆様には、地元盛岡に対する誇りと愛着を深めていただくとともに、国内外の皆様には、盛岡の魅力をより一層知っていただく機会とし、俳句を通じて多くの皆様が、盛岡に心惹かれ、共感する「盛岡ファン」になっていただくことを御期待申し上げます。

結びに、本大会に投句いただいた皆様をはじめ、関係各位の今後ますますの御健勝を祈念いたしまして、挨拶といたします。

第七回盛岡国際俳句大会　投句規定

投句募集期間　令和七年五月二十六日～九月一日

❖日本語部門

【一般の部　自由題（自由題材の句）】

選者　高野ムツオ（「小熊座」主宰）
　　夏井いつき（俳句集団「いつき組」組長）
　　岸本尚毅（「天為」「秀」同人）

賞　大会賞一作品、選者賞二作品、特選六作品、入選六十作品

【一般の部　盛岡題（盛岡にちなんだ題材の句）】

選者　白濱一羊（「樹氷」主宰）
　　名久井清流（「草笛」代表）

賞　大会賞一作品、盛岡市長賞一作品、特選四作品、入選二十作品

【ジュニアの部】

選者　照井翠（「暖響」「草笛」同人）
　　八重樫美佳（「樹氷」同人）

賞　大会賞一作品、文京区長賞一作品、入選十作品

❖英語部門

選者　マイケル・ディラン・ウェルチ（俳人）
　　木村聡雄（俳人　国際俳句協会事務局長）

賞　大会賞一作品、特選五作品、入選十二作品

※　漢字は新字体で統一しています。

【日本語部門】

◇大会賞

自由題　夏井いつき　選

正史には鬼と伝へて豊の秋　　神奈川県　太田土男

【講評】正史には「鬼」と記された辺境の民。この「豊の秋」の実りこそが誇りであるよ、という時代を超えた豊かな賛歌だ。

盛岡題　白濱一羊　選

チャグチャグ馬コ母のなりわを仔の揺らし　　神奈川県　伊予素数

【講評】母馬の首の下に吊るされた鳴り輪。母馬に戯れた仔馬が鳴り輪を鳴らしたのだろう。馬の親子の愛情あふれる光景を活写した一句。

ジュニアの部　照井翠　選

桜咲く母の背丈を越すわたし　　滝沢市　関口心遥

【講評】いよいよこの春、母の背丈を超す作者。自らの成長への驚きや、育ててくれた親への感謝の思いが「桜咲く」に込められています。

【日本語部門】

◇大会特別賞

盛岡市長賞　名久井清流　選

チャグチャグ馬コまた淀みなく動き出す　東京都　高橋寅次

【講評】信号が変わって再び馬の列が動き出した様子である。何気無く見ていたものをこう表現されると、そうだそうだと頷く他ない。

文京区長賞　八重樫美佳　選

桜咲く母の背丈を越すわたし　滝沢市　関口心遥

【講評】桜が咲いた嬉しさと母の背丈を越しつつある喜びが、明るく響き合っている。成長期ならではの一場面を晴れやかに捉えた。

【日本語部門】

◇選者賞

自由題　高野ムツオ　選

正史には鬼と伝へて豊の秋　　神奈川県　太田土男

【講評】正史とは国家の歴史。他にも全国に無数の歴史があった。正史に鬼と記載されても同じ人間である。実りの秋に改めて、そう思う。

自由題　岸本尚毅　選

プレハブや夏の夜風の安全旗　　北海道　北藤詩旦

【講評】プレハブの工事事務所があり、心地よい夏の夜風に緑十字の安全旗がはためいている。夜の工事現場の情景がありありと想像される。

日本語部門

◆一般の部　自由題

特選
高野ムツオ　選
赤子覚む虹の消え入る音のして　宮城県　川名まこと

特選
夏井いつき　選
星雲のやうなうす紙薔薇包む　盛岡市　二階堂光江

特選
岸本尚毅　選
ワイパーに虫の如くに栗の花　盛岡市　佐藤節子

特選
高野ムツオ　選
白鳥の悪声にしてよく通る　盛岡市　五日市明子

特選
夏井いつき　選
果樹の花まびき夕虹太きこと　神奈川県　巴里乃孺

特選
岸本尚毅　選
腰の魚籠沈めゆくなり秋の浪　長野県　杏乃みずな

◆一般の部　盛岡題

特選
白濱一羊　選
賢治忌や絵本をひらくやうに海　大阪府　押見げばげば

特選
名久井清流　選
天高しヘラルボニーのバスの青　盛岡市　古川制子

特選
白濱一羊　選
涼しさや水の匂ひの鉈屋町　盛岡市　兼平玲子

特選
名久井清流　選
四股を踏む入道雲や岩手山　盛岡市　阿部野の女

日本語部門

◆一般の部　自由題

入選

高野ムツオ　選

四畳半一間に匂ふ林檎かな　大阪府　今井文雄

家路着くたんぽぽの絮蹴りながら　長野県　平野いろは

吾に見えぬ風石鹸玉見えてをり　岡山県　祈り

胎児にも届きさうなり冬の雷　東京都　羽住博之

ただいまのままの靴たち星月夜　矢巾町　片山千恵子

梅東風や百万遍てふお念仏　盛岡市　篠村恵美子

修司忌や雨の沁みたる縄暖簾　盛岡市　大原宏司

被爆樹の片側に洞雲の峰　宮城県　川名まこと

星雲のやうなうす紙薔薇包む　盛岡市　二階堂光江

鉄瓶の滾る音して冬立ちぬ　宮城県　長谷部俊夫

自販機にかげろふの翅残りけり　盛岡市　佐藤節子

無宗教なれど合掌稲の花　盛岡市　佐々木恒夫

象の目のやさし八月十五日　奥州市　岩渕みゆき

しやぼん玉破れて御空と混じり合ふ　花巻市　熊の谷のまさる

撥条の解けゆく時計桜桃忌　矢巾町　如月海雲

たてよこに南部富士充つ代田かな　盛岡市　髙橋勝吉

思ふときひらがなとなる秋の風　滝沢市　坂本守

裏山は銀河の出口汽笛鳴る　宮城県　石川喜美子

鹿鳴くや怒るカムイの声の如　奥州市　七色しぐれ

みちのくに伊予河野氏の墓残花　愛媛県　ひでやん

日本語部門

◆一般の部　自由題

入選

夏井いつき　選

延々と蟻炎々とインパール　一関市　小栗不死実　レイトショー非常階段に落ち蟬　盛岡市　村井好子

夏蕨公民館の麺棒②　福島県　那乃コタス　セスナ行く薄荷の花は眠さうに　長野県　杏乃みずな

晴れた日は枯野へゆく日でんでら野　大阪府　石浜西夏　青インク涼し一身上の都合　秋田県　小林さおきち

流星や象の孤児院あるといふ　盛岡市　十月小萩　月明の御廟に夜を明かす人　和歌山県　中島走吟

嫁の名はみんなひらがな桃の花　徳島県　井形順子　国道をてんが横切る村祭　盛岡市　相馬定子

自販機にかげろふの翅残りけり　盛岡市　佐藤節子　沙羅の花川はわかれて川と川　大阪府　押見げばげば

子の嫁ぐ町は湯の香やいわし雲　奥州市　小野寺敦子　狐火の所為にしとけと村長は　東京都　多数野麻仁男

野良ぐつを脱ぐ床板に鳴る素足　紫波町　四日市洋子　工房の硝子の孵化や聖五月　一関市　水鏡新

美しく巻き納めたる蝶の口　盛岡市　五日市明子　裏山は銀河の出口汽笛鳴る　宮城県　石川喜美子

高揚のみづ放つかに初花す　北海道　北藤詩旦　不穏なる星や苺は当り年　盛岡市　中尾美知子

日本語部門
◆一般の部　自由題
入選
岸本尚毅　選

椴松の樹海の果ては雲海に　神奈川県　前川整洋
付き添ひの硬きベッドや明易し　大阪府　陽光樹
単身の任地や今朝も寒卵　福岡県　川口茂則
河童忌や犬歯でなぶる舌の傷　東京都　多数野麻仁男
空蝉をじゃらじゃら付けて草伸びる　東京都　多数野麻仁男
被爆樹の片側に洞雲の峰　宮城県　川名まこと
靴下のゴム跡深き十三夜　宮城県　川名まこと
脱け殻を引き摺っているやまかがし　奥州市　鎌倉道彦
野良ぐつを脱ぐ床板に鳴る素足　紫波町　四日市洋子
父はもう輪郭ばかり盆の月　盛岡市　壽由紀子

宵宮のだんだら坂を幾曲り　盛岡市　川道蓉子
美しく巻き納めたる蝶の口　盛岡市　五日市明子
首竦めたる鳩ばかり片かげり　東京都　くま鶉
芒果の皮やいうれい死するやう　兵庫県　青に桃々
長き夜の妻唄ふごと言ふ寝言　宮城県　菊池修市
撫でらるるやうにシャワーを受くるかな　奥州市　高橋瞳
はじまりは雲のきれめの夏の点　東京都　桂葉子
寄り来る山羊の背を掻く日永かな　秋田県　いしとせつこ
狐火を一つ灯せる古稀となり　奥州市　七色しぐれ
甕棺に収まり頭上には秋野　愛媛県　越智空子

日本語部門
◆一般の部　盛岡題
入選
白濱一羊　選

曲り家の縁側に干す夏蕨　山形県　鈴木花歩
春夜かなバーテンダーの長き指　盛岡市　十月小萩
旅人はみな山を見る啄木忌　盛岡市　工藤幸子
さんさ太鼓担ぎ保育士出勤す　盛岡市　阿部ゆき子
一ピース足りぬパズルや啄木忌　埼玉県　石塚彩楓
北上川のちょうど良き幅街涼し　宮城県　川名まこと
四股を踏む入道雲や岩手山　盛岡市　阿部野の女
この街はわたしが異物啄木忌　盛岡市　石川一郎
銀杏散る啄木の碑に触れ乍ら　奥州市　遠藤カオル
はだれ雪畦の向かふに南部富士　盛岡市　福田栄紀

日本語部門
◆一般の部　盛岡題
入選
名久井清流　選

睫毛長し吾子もチャグチャグ馬ッコも　秋田県　小田嶋隅雀
賢治忌や絵本をひらくやうに海　大阪府　押見げばげば
春の空「かでて」「いいよ」と鬼ごつこ　盛岡市　及川智子
解禁の鮎に盛岡竿撓う　盛岡市　齋藤茂登子
啄木忌上野駅より帰郷する　福岡県　川口茂則
会心の氷柱となりぬ青邨忌　釜石市　佐藤茂之
年の市Hellоに返す南部弁　矢巾町　鈴木青翠
最後尾盛岡冷麺待つ炎暑　矢巾町　及川恵子
じやじや麺を豪胆に混ぜ青邨忌　東京都　河野しんじゆ
チャグチャグ馬コけふの馬コのあんべ良し　愛媛県　ひでやん

日本語部門

◆ジュニアの部

入選

照井翠　選

太鼓鳴り踊れ踊れと夏嵐　盛岡市　古和田晴吾

空つかむ指にとまりし蛍星　滝沢市　木村一思

トンネルを抜けたら夏の果てない青　滝沢市　佐々木雅人

千の目がぼくを見ている白子干　盛岡市　細井昴

言の葉は空気に残る霰だと　山口県　田上海

入選

八重樫美佳　選

千の目がぼくを見ている白子干　盛岡市　細井昴

夜桜に信号の青まじってる　埼玉県　大室史華

I列をさがして秋のえい画館　滋賀県　太田慈

春風やアンパンマンを歌う手話　盛岡市　細井昴

よーいどんピストル響く夏の空　滝沢市　吉田陽向大

文京区と盛岡市の絆

歌人、詩人、評論家として知られる石川啄木は、岩手県盛岡市日戸で生誕し、文京区小石川の地においてわずか26歳の若さで亡くなりました。この縁から、2019年2月20日両都市は永続的な交流が図られることを願い、友好都市提携しました。

これまでの交流

▶友好都市提携調印式

石川啄木のご親族立会のもと、両市区長や議長など約100名の出席者が集まり、調印式が行われました。

▶啄木学級　文の京講座

盛岡市と玉山村の合併（H18.1）を機に、文京区において「文の京講座」を開催し、文京区民をはじめ、首都圏の方々に広く石川啄木の魅力を発信しています。

▶盛岡さんさ踊り

文京区民が来盛し、盛岡さんさ踊りに参加したり、「文京さくらまつり」でミスさんさが踊りを披露するなど、地域文化を通じた交流を行っています。

▶俳句交流会

友好都市提携5周年を記念し、文京区と盛岡市の中学生が盛岡のまちを歩き、俳句作りを通して交流を行いました。

【英語部門】

Judges：Michael Dylan Welch，Toshio Kimura
Japanese Translation：Toshio Kimura
選者：マイケル・ディラン・ウェルチ、木村聡雄
邦訳：木村聡雄

【Grand Prize】 ビクトリア市長賞

マイケル・ディラン・ウェルチ選
—Michael Dylan Welch

Sue Courtney ニュージーランド

golden hour
the sun drips off
a sculler's oar

黄金のとき
漕ぎ手の櫂から
太陽が滴る

Photographers know the "golden hour" when the day's light shortly after sunrise or before sunset is redder or perhaps orange, and less harsh than at midday. Such light warms up the finest photographs—and our appreciation for our surroundings. No wonder the sculler in this poem has paused to admire the light.

—Michael Dylan Welch

写真家は「黄金のとき」を知っています。それは日の出のすぐ後や日没前で、光が一層赤みを増し、おそらくはオレンジ色を帯びて、真昼よりも柔らかになる時間帯です。こうした光は最高の写真を暖かく照らし——さらに私たちを取り巻くものへの理解をも暖かく深めてくれることでしょう。この作品の漕ぎ手が光を讃えようと一瞬手を止めたのも不思議ではありません。

—マイケル・ディラン・ウェルチ

ビクトリア市と盛岡市の絆

かつて国際連盟事務次長を務めた新渡戸稲造博士は、岩手県盛岡市で生誕し、カナダのビクトリア市で亡くなりました。この縁から、1985年に両都市は、交流の促進と市民相互の理解と友情を深めるため、姉妹都市提携を締結し、今年で40周年の節目を迎えました。

【Special Selections】特選

マイケル・ディラン・ウェルチ 選
—Michael Dylan Welch

Valentina Ranaldi-Adams　アメリカ合衆国

faded poster
a lost dog returns
at first frost

色褪せたポスター
初霜に
迷い犬戻る

The dog in this poem is no doubt returning because of colder temperatures. The dog's owner surely also has increased empathy for the dog when the weather turns frosty, finding added relief when the long-lost dog returns. The fadedness of the poster tells us that this dog has been missing for a long time, making the reunion sweeter and more of a surprise.
この作品の犬が戻ってきたのは寒くなってきたからにほかなりません。飼い主の方も霜が降りる頃には犬への思いが強くなっていたはずで、長いこと行方知れずの犬が戻ってきたときには一層の安堵を感じたに違いないでしょう。ポスターが色褪せてしまっているのは、この犬が長く行方不明だったことを物語っていて、この再会をうれしいと同時に驚くべきこととしています。

Saumya Bansal　インド

Milky Way...
our long silence
comfortable

天の川...
われらの長い沈黙も
心地よく

The beauty of the night's stars makes words not only inadequate but unnecessary. This is a shared experience, and the poet seems to know empathetically that their companion is also content with silence in the presence of nature's wonder.
夜空の星々の美しさは、言葉は不十分だと思わせるだけでなく、不要なものにさえしてしまいます。これは皆が感じる体験でしょう。自然の驚異を前にこの俳人は、仲間もまた沈黙に満足しているはずと共感しつつよく理解しているようです。

【Special Selections】特選

木村聡雄 選
—Toshio Kimura

Stephen Toft　イギリス

long summer
the coolness
inside a cello

長い夏
チェロの内にある
涼しさ

Global warming has made Japanese summers hotter and longer. It would be difficult to answer whether the inside of a cello is actually cool or not, but anyone who hears its rich, mellow tones will surely agree with this haiku.
温暖化で日本の夏は暑く長期化しています。チェロの内側が実際に涼しいかは難しいところですが、チェロのあの中低音の音色を聞けば、誰でもこの句に納得することでしょう。

Eduard TARA　ルーマニア

end of summer
a snake bending
the light

夏果てて
一匹の蛇
光を曲げる

When the summer heat had eased somewhat, perhaps one might have seen a snake in the woodlands. As it slithered along, the still-dazzling sunlight might have seemed to shimmer and sway. A work of fresh expression.
夏の暑さがひと段落したころ、里山などで蛇を見かけたのでしょうか。蛇がくねくねと進むと、まだ眩しく差す陽光が揺らぐように感じられたかもしれません。新鮮な表現の句です。

Marie Derley　ベルギー

Independence Day
the hem of my dress
is coming undone

独立記念日
ドレスの裾が
ほつれはじめ

America's independence came on the fourth of July, 1776. Festivities will be held across the States. Though the dress was made for this day's celebration, the hem seems to have frayed. Joyful anticipation and bewilderment are captured within a single haiku.
アメリカの独立は 1776 年 7 月 4 日。米各地でお祭りが催されることでしょう。この日のための服なのに裾がほつれてきたようです。楽しい期待感と戸惑いとが一句の中に表されています。

【Honourable Mentions】入選　マイケル・ディラン・ウェルチ 選
—Michael Dylan Welch

Alvin B. Cruz　フィリピン

her choice to be childless cherry blossom	子を持たないという 彼女の選択 桜花

Jay Friedenberg　アメリカ合衆国

war lecture the distant drone of a lawn mower	戦争の講義 遠くうなる 芝刈り機

Boryana Boteva　ブルガリア

quiet rain at the flea market a broken guitar	音もなく雨 のみの市に 壊れたギター

Jay Friedenberg　アメリカ合衆国

across both sides of the border fence marigolds	国境の塀 両側に マリーゴールド

Alvin B. Cruz　フィリピン

childhood hidden in the attic a box of small things	子ども時代 屋根裏に 小物の入った箱

Stephen Toft　イギリス

sharpening my mother's knives winter rain	母の包丁 研げば 冬の雨

【Honourable Mentions】入選

木村聡雄 選
—Toshio Kimura

Perica Dujmović　クロアチア

all that mighty nature
seems more beautiful
in the rearview mirror

猛る自然
バックミラー越しに
さらに美しく

Boryana Boteva　ブルガリア

quiet rain
at the flea market
a broken guitar

音もなく雨
のみの市に
壊れたギター

Pegah Rahmati Nezhad　イラン

rescued cat
giving high five
with a phantom hand

助けられた猫
幻の手と
ハイタッチ

Baisali Chatterjee Dutt　インド

bamboo shoot
does it know it holds
a song within

たけのこは
気づいているか
内に歌を秘めていることを

Willy Cuvelier　ベルギー

all my dreams
lost in the pillowcase
with blossom design

どの夢も
花柄の枕カバーの中に
忘れ去られ

Henryk Czempiel　ポーランド

from nowhere
mist
to nowhere

どこからともなく
かすみ
どこへともなく

主　催　盛岡国際俳句大会実行委員会
共　催　盛岡市　ＩＢＣ岩手放送
後　援　岩手県　盛岡市教育委員会　公益財団法人盛岡市文化振興事業団
公益財団法人盛岡国際交流協会　一般社団法人現代俳句協会
公益社団法人俳人協会　国際俳句協会　公益社団法人日本伝統俳句協会
俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会
岩手日報社　ＮＨＫ盛岡放送局　テレビ岩手　めんこいテレビ
岩手朝日テレビ　エフエム岩手　岩手ケーブルテレビジョン

盛岡市のシンボル（市の花・市の木・市の鳥）

盛岡市の花『カキツバタ』
さわやかな初夏（6月中旬頃）に紫色の花を咲かせます。古くから市内の各地に自生しており、山岸に群生しているカキツバタは、県の天然記念物に指定されています。アヤメ科。多年草。

盛岡市の木『カツラ』
山地に自生する落葉樹で、高さ30メートル近い大木となります。枝が垂れる「シダレカツラ」はこの地方特有の変種で、肴町と大ヶ生の瀧源寺、門のシダレカツラは国の天然記念物に指定されています。カツラ科。

盛岡市の鳥『セキレイ』
市街地を流れる中津川周辺などでよく見られる濃淡のコントラストが美しい鳥です。オスとメスの仲がよく水をたたくように尾を上下させて飛ぶ姿は、とてもスマートです。セキレイ科。